

科目名	イグナイト教育2B			ナンバリング	IGN142	授業形態	講義
対象学年	2	開講時期	後期集中	科目分類	必修	単位数	1単位
代表教員	永田 隆之	担当教員	鎌田 真理子、吉川 真一、田島 裕久、角田 大、渡邊 義久、久保田 耕司、飯塚 康人				

授業の概要	社会で活躍する薬剤師の多彩な役割を理解するために、病院や薬局以外の職場で働く薬剤師の仕事について学ぶ。また、社会的弱者関連の実体験をすることにより、福祉の重要性について考える。さらに、過去に薬害の被害を受けた患者さんの講話を聞き、薬害や医薬品の副作用に対する認識を高める。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬剤師のさまざまな職能と業務内容について説明できる。 2. 「ハンディキャップ体験の意義」の講義を聴講し、社会的弱者に対する医療の在り方、その接遇方法について説明できる。 3. 薬害患者さんの講話を聞き、薬害の原因や社会的背景を説明できる。 4. 薬害患者の気持ちを知り、薬剤師としての対応を考え、SGDすることができる。 5. 不自由体験を通して社会的弱者の行動をサポートできるようになる。 6. 社会的弱者の気持ちを知り、薬剤師としての対応を考え、SGDすることができる。 7. 保健所等行政における薬剤師の役割を概説できる。 8. 一次救命措置ができる。 						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	<ol style="list-style-type: none"> ①各授業の前に、講義のテーマと課題を提示するので、必ず各自で下調べしておくこと。 ②講話を聞く場合と施設見学を行う際には、メモを取り、質問事項を纏めておく。 ③SGDをする際には、各自の役割を決めておき、スムーズな進行に努めること。 ④最後の授業では、各自が得られた成果を発表する。 						
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマンイズムと倫理観を具現できる。					
		2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。					
	○	3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。					
		5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
<ol style="list-style-type: none"> ①薬剤師のさまざまな職能と業務内容について概説できる。 ②社会的弱者に対する医療の在り方、その接遇方法について概説できる。 ③薬害患者さんの講話を聞き、薬害の原因や社会的背景を概説できる。 ④一次救命措置(心肺蘇生)ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①薬剤師のさまざまな職能と業務内容について説明できる。 ②薬害について、その原因や社会的背景、薬害患者の気持ちを知り、薬剤師としての対応を考え、SGDすることができる。 ③不自由体験を通して社会的弱者の気持ちを知り、薬剤師としての対応を考え、SGDすることができる。 ④一次救命措置(心肺蘇生とAEDの操作)ができる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○	○	○				30%
授業態度・授業への参加	○		○	○	○		70%

課題、評価のフィードバック	<ol style="list-style-type: none"> ①SGD、発表の際に、教員が適宜コメントする。 ②体験したすべての課題について、報告書にまとめて提出し、教員が評価する。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考	
授業計画	第1回	オリエンテーション	薬剤師のさまざまな職能と業務内容を知る。	SBO:A-(1)-②-2	
	第2回	ハンディキャップ体験の意義	ハンディキャップ体験を実施するために、社会的弱者の気持ちと対応を考えるための講話を聴く。	SBO:A-(1)-②-2	
	第3回	薬害について学ぶ①	薬害患者さんの講話を聴く。	SBO:A-(1)-③-5,6,7	
	第4回	薬害について学ぶ②	薬害患者さんの講話を基に薬害についてのSGDを行う。	SBO:A-(1)-③-5,6,7	
	第5回	薬害について学ぶ③	薬害について、SGDを基にプロダクトを作成する。	SBO:A-(1)-③-5,6,7	
	第6回	ハンディキャップ擬似体験①	疑似高齢者体験を通して、社会的弱者の立場を知り、その行動をサポートする。	SBO:A-(1)-①-1,2 SBO:F-(1)-②-1	
	第7回	ハンディキャップ擬似体験②	疑似視覚障害体験、疑似下半身不自由体験を通して、社会的弱者の立場を知り、その行動をサポートする。	SBO:A-(1)-①-1,2 SBO:F-(1)-②-1	
	第8回	ハンディキャップ擬似体験③	疑似妊婦体験を通して、社会的弱者の立場を知り、その行動をサポートする。	SBO:A-(1)-①-1,2 SBO:F-(1)-②-1	
	第9回	行政で働く薬剤師(見学)①	保健所を見学し、保健所の仕事全般と、行政で働く薬剤師の仕事を知る。①	SBO:A-(1)-②-2 BO:F-(1)-②-2	S
	第10回	行政で働く薬剤師(見学)②	保健所を見学し、保健所の仕事全般と、行政で働く薬剤師の仕事を知る。②	SBO:A-(1)-②-2 BO:F-(1)-②-2	S
	第11回	一次蘇生体験①	心肺蘇生を行う。	SBO:F-(1)-②-3	
	第12回	一次蘇生体験②	AEDの取扱いができる。	SBO:F-(1)-②-3	
	第13回	成果発表の準備:SGDの結果をまとめる	ハンディキャップ体験・一次蘇生体験について、SGDを基にプロダクトを作成する。		
	第14回	成果発表	ポスターセッションによる成果発表を行う。		
	第15回	報告書作成	様々な活動を行った体験内容と感想を報告書にまとめる。		
	試験	試験は実施しない。			
授業の進め方	①様々な体験学習を行うので、事前に予習しておき、その都度記録を取って纏めておくようにする。 ②SGDでは、討論後にプロダクトを発表し、教員及び学生全員で評価しあう。				
授業外学習の指示	予め課題を出すので、その概要について調べておく。(予習:90分)。 聴講内容をまとめ、与えられた課題に関するレポートを作成する。(復習:90分) (授業外学習時間: 毎週 180 分)				

教科書	
参考書	毎回、講義資料を配布する。
参考URLなど	
その他	